

G

”支える技術” ジー・エクス・パイルの三誠がお届けするインフォメーション・ペーパー。

-ECS NEWS

編集・発行人／高橋 通 発行所／株式会社 三誠ジーエクスニュース事務局 本社〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町209 箱崎公園ビル
TEL: 03-3639-5226 FAX: 03-3639-8162 ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>

2008 May Vol.6

三誠の
展開力

G・ECSパイル工法が、 本格的な全国販売に向けて新展開。

G・ECSパイルが粘土質地盤にも対応。

弊社の主力製品として皆さまに

ご好評いただいているG・ECSパイル工法が、これまでの砂質地盤、礫質地盤に加え、粘土質地盤においても高支持力を発揮する工法として日本建築センターの性能評価を取得しました。5月下旬に国土交通大臣認定も取得する予定です。また、掘削力をアップするために爪をつけたバリエーション(Nタイプ)も同じく認定を取得する予定となっています。α値は150、N値の適応範囲は10〜50となっております。これによりG・ECSパイル工法は、地盤を



掘削力をアップするために
爪をつけたNタイプ

選ばない汎用性の高い工法として、今まで以上に扱いやすく、より多様な施工現場で採用いただけることとなります。



日本建築センターの性能評価書

納得したものしか世に出さない。
その姿勢が私たちの財産です。

これまで私たちは基礎杭メーカーとして、ユーザーの皆さまの期待に応えるために製品開発を行ってきました。砂

質地盤のみ対応の自社製品『ECSパイル』から始まり、羽の形状を工夫し、砂質地盤・礫質地盤に対応したECSパイルの後継製品『G・ECSパイル』を開発。一級建築士の資格を持つ弊社の技術者が実際に試験に携わることで、一歩一歩検証を積み重ねてきました。その後も現場の声に合わせて杭径の種類を増やすな

ど、製品開発は続いています。そこには「ユーザーの立場に立つて納得したものしか世に出さない」という姿勢が貫かれています。この度の粘土質地盤への対応も、杭メーカーとしての責務であると考え開発に取り組みました。

クボタと販売提携を発表。

この度、株式会社三誠と、株式会社クボタは、回転貫入杭G・ECSパイル工法に関して、販売・施工提携を行うことを発表いたしました。取り扱いはφ267・4とφ216・3の2種類になります。

販売開始時期は6月以降の予定。(株)クボタの営業網を活用して、全国で取り扱いを開始いたします。この提携により、これまでカバーできていなかった地域のユーザーの皆さまにも、安定した品質のG・ECSパイル工法をスピーディーにご提供できることが可能になります。これに加え、先ほどご紹介いたしました粘土質地盤への適応が実現することにより、地域、土質を選ばず、今まで以上

に扱いやすく信頼性の高い工法として、皆さまに気軽に活用いただけるのではないかと考えています。

今後の可能性・展開をいたしましては、両社の基礎杭事業における強みを相互補完することで、さらにG・ECSパイル工法の認知度向上を図り、全国の皆さまに基礎杭工法の選択肢のひとつとして検討していただけるよう普及の強化に努めてまいります。また、昨年の法改正をはじめとし建築資材の高騰など逆風続く厳しい環境の中で、安定した供給に努めるとともに、なお一層信頼されるメーカーとなるよう努力する所存です。



建設工業新聞に取り上げられました

Topics

トピックス

ボーリングデータをデータベース化

この度、弊社ではボーリングデータのデータベース化を行いました。総数で1万件以上のデータを管理することで、より正確で迅速な対応が可能になりました。今後もリアルタイムでデータの追加を行ってまいります。

鉄鋼原料炭の高騰に伴う

鉄鋼製品の値上げ

鉄鋼メーカー各社は4月1日出荷分より素管ベースで20000円〜25000円の値上げを実施しました。また、鉄鋼原料炭の買入価格を07年度の約3倍に引き上げることで合意したため、7月には更に約150000円の値上げが想定されます。

建築基準法改正後による現状

昨年の6月20日の法改正に伴う適判業務の厳格化により市場から物件が大幅に減少。2〜3月には90%程度に回復したかに見えます。しかし、円高・貸し渋り・建設資材の高騰により、マンション物件をはじめ、今後市場全体が大幅な縮小に向かうことが予測されます。

弊社第一次5ヶ年計画の5年目

本年度は弊社第一次5ヶ年計画の最終年となります。年商40億円を目指します。新市場追加・粘性土認定・業務提携により、5ヶ年計画達成に向けて取り組んでまいります。

G-ECS PILE。さまざまな条件下で、最良のソリューションとして採用されています。

G-ECS パイル

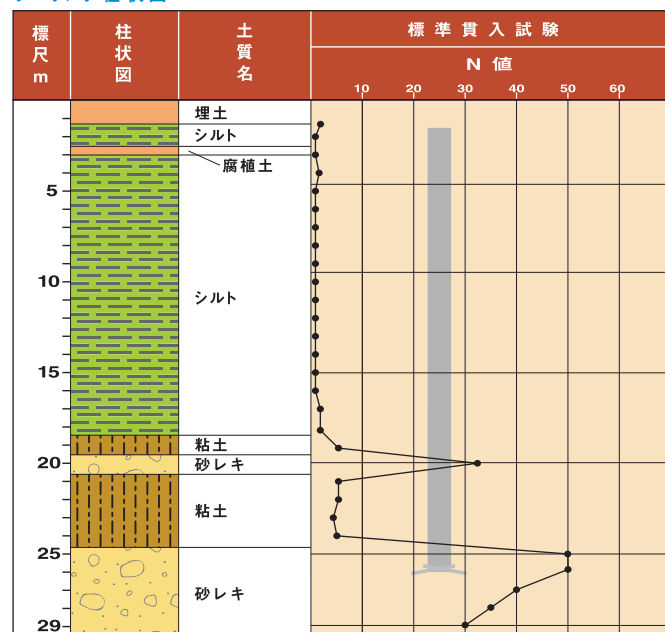
埼玉県児童・幼児施設増築工事

園児に配慮した低騒音、低振動、安全なG-ECSパイル工法を採用。本物件は住宅街に囲まれた幼稚園の増築工事です。開園状態で工事が行われるため、園児に配慮した工法として、低騒音、低振動、安全、さらにコンクリート杭に比べ搬入車両数が1/4で済むG-ECSパイル工法が採用されました。短工期であったことから解体と根伐りを並行で行った他、中間層の硬い砂礫層を抜く困難な施工に対しては、技術部や工事部とのスピーディーな連携により対応。御施主様からも好評を頂くことができました。

【施工年月日：平成18年9月27日～10月7日】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	埼玉県児童・幼児施設増築工事	杭の種類	φ216.3 t=8.2 24m (6+6+6+6) (STK400)
施工場所	埼玉県川口市	本数	79本
用途	幼稚園	杭先端深度	GL-25.5m
構造・階数	S造2階	延床面積	1,730㎡
設計支持力	305.6kN		
先端N値	25		

G-ECS パイル

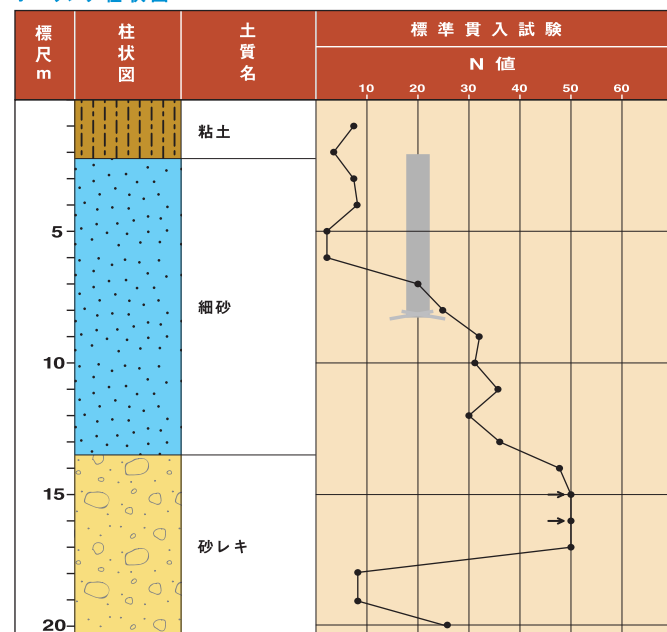
千葉県商業施設新築工事

建築面積10,000m²を超える鉄骨造の大型商業施設。本物件は敷地が借地であったことから、契約満了時に現状復帰させる必要がありました。簡単な引抜き、無排土施工、短工期が求められ、これらの条件をクリアするG-ECSパイル工法が採用されました。5箇所行った地盤調査では、いずれも深度6m付近にN値20の砂層を確認。その層を支持層として設計しました。また、地中梁が外周部のみにしか存在しないため、1柱2本の杭を配置することで対応しました。

【施工年月日：平成18年10月6日～10月9日】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	千葉県商業施設新築工事	杭の種類	φ190.7 t=7.0 6m
施工場所	千葉県印西市	杭の種類	φ216.3 t=8.2 6m
用途	商業施設	杭の種類	φ267.4 t=9.3 6m
構造・階数	S造2階	本数	196本
設計支持力	191.6/244.4/353.7kN	杭先端深度	GL-7.3m
先端N値	20	延床面積	21,140㎡

株式会社 三誠
SANSEI Inc.

本社 TEL: 03-3639-5226 FAX: 03-3639-8162
北関東営業所 TEL: 048-813-6612 FAX: 048-813-6615
群馬出張所 TEL: 027-370-1851 FAX: 027-370-1852
ホームページ: <http://www.sansei-inc.co.jp>

茨城営業所 TEL: 0299-36-7170 FAX: 0299-48-0025
新潟営業所 TEL: 025-242-2180 FAX: 025-242-2183
メールアドレス: info@sansei-inc.co.jp

お問い合わせは、メール info@sansei-inc.co.jp
または、FAX 03-3639-8162 (担当 内田) まで。